

FIDIC Redbook 99年版 条文解説セミナー

～全体の構造、全条文のポイント、そして近時の重要判例の解説～

【講師】

西村あさひ法律事務所 シンガポール事務所共同代表 パートナー弁護士 宇野 伸太郎
英国・シンガポール仲裁人フェロー

(敬称略)

海外の建設・インフラプロジェクトの主要約款であるFIDICは、ODAプロジェクトなど日系企業が関係する国際プロジェクトで広範囲に使用されています。入札に際してのリスク分析、プロジェクトでの契約管理を適切に行うためGeneral Conditions(一般条件書)として使用されるFIDICの正確な理解は不可欠ですが、そのボリュームの多さ、契約構造の複雑さ、国際建設法のコンセプトが前提となっていることなどの理由から、契約内容を正確に理解することは容易ではありません。

本セミナーでは、海外建設協会(OCAJI)でFIDIC条文解説を担当する講師が、FIDIC各契約の基本形といえるFIDIC Redbook 1999年版(施工契約)について、全体の構造、全条文のポイント、そして近時の重要判例の解説を行い、3時間でFIDIC Redbook を理解することを目指します。

【重点講義項目】

1. FIDIC Redbookの構造
2. FIDIC Redbook全条文の骨子とポイント解説
3. 関連質疑応答

(注) FIDIC Redbook 99年版 は各自ご持参ください。

* 当セミナーの録音、転送、撮影等はお断りしております。

講師略歴

インドネシアなど東南アジアにおける国際建設・インフラプロジェクトに関する紛争(仲裁・訴訟)に集中的に関わっており、特に、ODAの建設・インフラプロジェクトの経験が豊富である。

2002年東京大学法学部卒業、2003年弁護士登録、2010年カリフォルニア大学バークレー校ロースクール修了(LL.M.)、2011年ニューヨーク州弁護士登録、2010年-2011年Shearman & Sterling法律事務所(サンフランシスコ)、2011年-2013年清水建設国際支店出向(シンガポール駐在)、2013年クアラルンプール仲裁センター(KLRCA)建設紛争裁定制度裁定人、2014年英国仲裁人協会フェロー就任、同年シンガポール仲裁人協会フェロー就任。2015年インドネシア仲裁委員会(BANI)仲裁人就任、同年KLRCA仲裁人。2016年西村あさひ法律事務所シンガポールオフィス共同代表。

【主な講演】「FIDIC Redbook条文逐条解説」(海外建設協会。2016年7月東京、2016年1月ジャカルタ、ホーチミン、ハノイ、2015年7月東京で実施)、「インドネシアの紛争解説～BANI仲裁と民事訴訟」(経営調査研究会、2016年7月)、「Risk Allocation Trends and Approaches」(シンガポール建設法学会、2015年9月)

【主な論文】「国際建設仲裁概観」(共著、三木浩一ら編『国際仲裁と企業戦略』(有斐閣、2014年12月))

